

飯塚市議会だより

年4回発行：飯塚市議会 〒820-8501 飯塚市新立岩5番5号 ☎0948-22-0214 FAX0948-28-1251
ホームページ：https://www.city.iizuka.lg.jp/shise/gikai/ メールアドレス：giji@city.iizuka.lg.jp

= 目次 =

- 議案審議の概要 …… 1P
- 委員会レポート …… 1～2P
- 一般質問 …… 2～8P
- 議案の議決結果 …… 8P

議案審議の概要



9月定例会（9/5～9/27）では、市長提出議案21件、請願3件、議員提出議案2件、合わせて26件を審議しました。

審議にあたり、人事議案を除く市長提出議案については、所管の常任委員会及び特別委員会に付託し、各委員会で鋭意審査を行いました。審議した主な議案とその概要は、次のとおりです。

市長提出の議案（可決したもの）

●飯塚市水道事業給水条例の一部を改正する条例

- ・口座振替割引の廃止
- ・令和6年4月1日から施行

人事議案（同意したもの）

●人権擁護委員の推薦に同意
・西谷 とも子 氏

請願（継続審査としたもの）

- 「伊川の郷」ラジウム温泉風呂の早期再開を求める請願
- 子育て支援の充実（保育料無償化）を求める請願
- 子育て支援の充実（子ども医療費無償化）を求める請願

議員提出の議案

決議（可決したもの）

●議会アドバイザーの設置に関する決議

条例（継続審査としたもの）

●飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例

議員定数のあり方に関する調査特別委員会



本特別委員会は7月6日に設置されて以降、全議員が委員となり、「議員定数のあり方について」及び「議員提出議案第7号 飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例」（議員定数を28人から24人に改正するもの）を審査しました。

8月4日、8月23日、9月20日、9月27日、10月23日に委員会を開催し、議員定数のあり方を検討するにあたり、どのように委員会を進めていくかの協議が行われた中で、「市民アンケートの実施」及び「議会アドバイザーの設置」を決定し、その実施方法について協議を行っています。

12月定例会（予定）

日	月	火	水	木	金	土
11/19	20	21 議会運営委員会	22	23 勤労感謝の日	24	25
26	27	28 議員定数のあり方に関する調査特別委員会	29	30 本会議（初日）	12/1	2
3	4	5 本会議（一般質問）	6 本会議（一般質問）	7 本会議（一般質問）	8 本会議（一般質問） （質疑・委員会付託）	9
10	11	12 常任委員会（経済建設） （福祉文教）	13 常任委員会（総務） （協働環境）	14 （予備日）	15 本会議（最終日）	16

※日程は変更される可能性がありますので、最新の情報はホームページにてご確認ください。
※本会議・各委員会は10時開会の予定です。

市議会議員補欠選挙の結果

令和5年11月12日に行われた市議会議員補欠選挙により、新たに石川 華子 氏が当選しました。

お知らせ

令和5年10月16日に、上野伸五議員より辞職届が提出され、同月18日に議長において議員辞職の許可をいたしました。また、同年11月10日に、守光博正議員より辞職届が提出され、同日に議長において議員辞職の許可をいたしました。

委員会レポート

8月～9月に開催された常任委員会について報告します。

総務

8月9日に行われた委員会では、特別付託事件である「入札制度について」及び「情報公開について」を審査しました。

定例会中の9月19日に行われた委員会では、議案2件を審査し、1件を原案可決、1件を承認としました。

「議案第52号 令和5年度 飯塚市一般会計補正予算(第4号)」の審査では、旧潤野小学校を解体することなどが、解体後はどのように考えているのかという質疑に対し、解体後は速やかに売却を行いたいと考えているという答弁がありました。



協働環境

8月2日に行われた委員会では、特別付託事件である「自然環境保全対策について」を審査しました。

自然環境保全条例の課題をどのように考えているのかという質疑に対し、本条例は制定から15年以上経過しており、昨今の異常気象による災害の発生や再生可能エネルギー事業の急速な普及など、自然環境や社会情勢などの目まぐるしい変化への対応が課題であると考えているという答弁がありました。



福祉文教

8月8日に行われた委員会では、特別付託事件である「図書館について」及び「虐待の予防事業について」を審査しました。

定例会中の9月15日に行われた委員会では、請願2件を審査し、いずれも継続審査としました。

「請願第1号 「伊川の郷」ラジウム温泉風呂の早期再開を求める請願」の審査では、社会福祉協議会の事業である伊川の郷と本市はどのような関係なのかという質疑に対し、建物は社協が所有しているが、土地は市が所有している。また、当該事業は市から社協への補助金の対象としていないという答弁がありました。



経済建設

8月7日に行われた委員会では、特別付託事件である「産業振興について」を審査しました。

定例会中の9月27日に行われた委員会では、議案3件及び決算認定議案4件を審査し、議案3件を原案可決、認定議案4件を認定としました。「認定第11号 令和4年度 飯塚市水道事業会計決算の認定」の審査では、令和4年度から損益が黒字になつていないのはなぜかという質疑に対し、令和4年1月の水道料金改定により、事業運営に必要な費用が収益で賄われたことから黒字となつているという答弁がありました。



決算特別委員会



令和4年度一般会計及び各特別会計の決算認定議案10件を審査するため、委員11名の特別委員会(委員長 田中武春、副委員長 藤堂彰)を設置し、9月21日及び22日の2日間で審査を行いました。審査の結果、いずれも認定すべきものと決定しました。

一般会計の審査では、次のような多岐にわたる質疑がありました。
・企業版ふるさと納税の寄付額や広報の取組・交通安全施設整備事業費で実施した工事内容・長寿祝金支給事業の実績や他自治体との比較・福祉タクシー券の利用状況や助成率・乳幼児育成指導事業の巡回相談の実績状況や起業家育成事業費補助金の対象及び上限

一般質問 (令和5年9月定例会)

飯塚市の地球温暖化対策について



吉松 信之

【吉松】国連のグテレス事務総長は国連本部で「地球温暖化の時代は終わり、地球沸騰化の時代が到来した」と発言した。今年の夏の日本の平均気温は過去125年間で最も高くなり、自然災害だけでなく、生態系を破壊し、食糧危機、経済危機、医療危機までも引き起こそうとしている。このような状況の中で、第3次飯塚市環境基本計画では温室効果ガスの削減目標値をどのように設定しているのか。

【部長】2013年度を基準年度とし、中期目標値を2030年度に46%削減としている。また、長期目標値を2050年度に排出量実質ゼロとしている。

【吉松】温室効果ガス削減に向けて、どのような取組を実施しているのか。

【部長】ごみの減量化及び再資源化等を推進するとともに、ペットボトルキャップ回収事業の促進、拠点収納ボックスの設置、資源回収を行う団体に対し資源回収団体奨励補助金の交付等を行っている。

【吉松】これらの取組だけでは限界があると考えられる。市民一人一人が環境問題を自分のこととして考えるためには、情報発信が必要だ。

【部長】ホームページやライン、広報誌、自治会・隣組回覧等で地球温暖化対策の情報発信を行っている。

【吉松】地球温暖化は、宇宙船地球号に乗り込んでいる全ての国、全ての人々が取り組むべき課題であり、影響は自然災害だけでなく多岐に及び、まさに戦争に匹敵するほどの問題だと考える。私たちは、このように悪化する自然環境を次の世代に背負わせるわけにはいかない。私は議員として、気象予報士として、これからもこの問題に取り組んでいく所存だ。

一般質問の様子は



市議会ホームページ



会議録・録画中継



当該年度



浸水対策全般について



鯉川 信二

東川津地区の浸水対策
【鯉川】 水江雨水ポンプ場は令和5年度で運用開始となるが、できるだけ多くの雨水をスムーズにポンプ場並びに遠賀川へ排出するための水路整備計画はどのようなになっているか。
【部長】 令和6年度に運用開始するポンプ場へスムーズに雨水を流下させ遠賀川へ排出できるように、本年度中に狭小箇所を改良を行う。
【鯉川】 西川津地区は、旧二瀬公民館前の市道や九工大交差点にU型溝やグレーチング蓋の側溝の改修をしているが、その後も幾度となく被害にあっていることを承知しているか。
【部長】 承知している。
【鯉川】 西川津地区は短時間の大雨でも冠水し、安定的な排水を行

うことができているのか。
【部長】 水江ポンプ場の効果を検証し、さらに対策を要する場合にはポンプの設置も検討する。
【鯉川】 すぐに設置が難しいようなら水門近くの暗渠部分に穴を開け、洪水時にそこから仮設ポンプで洪水を排出してはどうか。
【部長】 仮設ポンプの配置は被害軽減の一助となるものと考えている。
【鯉川】 令和4年度に建花寺川横田排水ポンプを設置したが、道路冠水し車も立ち往生した。今後、周辺の雨水をスムーズに取り込むような改善策を講じてほしい。
【部長】 今回、スクリーンにゴミ等が付着しポンプへの流入を阻害して能力が十分に発揮できなかったため、今後、多くの雨水をポンプに送り込めるよう改良する。

ふるさと納税の可能性／男女共同参画について



上野 伸五

ふるさと納税の可能性
【上野】 学校等へ楽器の寄附をふるさと納税として受け入れている自治体があるが、本市でも実施できるのか。
【部長】 取組を開始するための制度上の問題は特になく、開始するに当たり、教育委員会と連携し、楽器の寄附を受け入れる吹奏楽部等との事前調整が必要になるが、楽器がなくて困っている子どもたちのために前向きに進めていきたい。
【上野】 本市の政策・方針決定過程への女性の参画について、どのように取り組んでいるのか。
【部長】 審議会の女性委員登用の推進に関して、担当課と男女共同参画推進課で事前協議を行っている。また、女性人材バンクの登録者

を増やし、女性委員候補者を推薦できるように取り組んでいる。
【上野】 男女共同参画の推進に向けた市民への啓発はどのように取り組んでいるのか。
【部長】 地域の会合等での出前講座を実施している。また、家庭内の家事及び育児を見える化し、「男は仕事、女は家庭」という固定的性別役割分担意識にとらわれず、夫婦や家族の役割分担について考えるきっかけとなる家事・育児シェアシートを作成し、配布の準備を進めている。
【上野】 工夫を凝らした努力と活動を継続し、男女共同参画に対する理解や意識を当然のことと感ぜられる飯塚市を目指してほしい。家庭での男女の役割分担を交代する「家事役割交代週間」のような男女共同参画理解のきっかけづくりとなる取組の検討を要望する。
その他、教職員の働き方改革や学校における熱中症対策等の質疑を行った。

補聴器の購入費用への補助金について／オートレース場の駐車場の有効活用について



守光 博正

補聴器の購入費用に対する補助金
【守光】 補聴器購入の補助対象者の要件及び利用状況はどうか。
【部長】 聴覚に障がいがあり、補聴器を使用することで聴覚の改善が見込まれ、かつ聴覚障がいのある身体障害者手帳を取得していることが要件となっている。この要件に該当する方のうち、約67%が本助成制度を利用している。
【守光】 補聴器の助成金の限度額はどのようになっているのか。
【部長】 限度額の最も低いものでは高度難聴用ポケット型の4万1600円から、最も高いものではオーダーメイドの耳あな型の13万4千円となっている。
【守光】 本助成制度の対象とならない方に対してその他に助成制度はあるのか。

【部長】 市内に住所を有する18歳未満の方で、両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満であり、かつ市長が認めた方については、身体障害者手帳がなくとも受けられる助成制度がある。
【守光】 限度額の増額を本市として独自に行う考えはあるのか。
【部長】 国の実態調査や関係団体の調査の際に増額の要望を行うとともに、今後の国の動向を注視していく。
オートレース場の駐車場の有効活用
【守光】 オートレース場の駐車場内にオートキャンプ場やRVパーク等を設置すれば、新規顧客開拓につながると思うが、どのように考えているのか。
【所長】 夜間レース開催時の問題点や需要の有無について検討する。
【守光】 オートレース場が以前のようなにぎわいを取り戻し、その波動が本市全体に広がるように、民間事業者と連携することも含めて検討してほしい。



空き家対策／带状疱疹ワクチンについて



光根 正宣

【光根】危険家屋である特定空家は、本市に何件あるのか。
【部長】平成27年度から認定を開始し、これまで36件を特定空家として認定しており、このうち35件が解体撤去となっている。残り1件は、現在所有者が宅建業者と解体に向けた協議を行っている。

なつてはならないと考えており、改正内容を精査して実施、対応したいと考えている。
【光根】带状疱疹ワクチンの種類は、どのようなものがあるのか。
【部長】生ワクチン（乾燥弱毒性水痘ワクチン）と不活化ワクチン（乾燥組換え带状疱疹ワクチン）がある。
【光根】ワクチンの接種費用は、どのくらいかかるのか。
【部長】生ワクチンが7千円から1万1千円程度、不活化ワクチンは、2回接種で1回当たり約2万円から2万3千円程度するため4万円から4万6千円程度となっている。
【光根】多くの自治体が公費助成を行っている。予防効果も高く公費助成を行う意義があると認められてきていると思うが、本市の考えはどうなのか。
【部長】国において定期予防接種化の議論がなされている。公費助成を行っている自治体の状況も参考にしながら検討していきたい。

手話通訳者について



秀村 長利

【秀村】手話は、ろう者にとって意思疎通を図るための必要な言語であり、大切なコミュニケーションの手段である。手話言語条例が制定された後も条例の認知度は低く、ろう者が生活をしていく上で、いろいろな場面で情報を得ることやコミュニケーションを取ることで、さまざまな不便や不安を感じている。
県内で手話通訳者を設置している市はいくつあるのか。
【部長】20市が設置し、9市が未設置である。
【秀村】本市では何名雇用しているのか。
【部長】月17日勤務の会計年度任用職員を1名雇用している。
【秀村】どのような資格が必要なのか。
【部長】手話通訳士か認定手話通訳者の資格が必要である。

【秀村】市内には支所を含め5か所の行政窓口があるが、支所への手話通訳者の設置について、どのような検討をしたのか。
【部長】多言語・手話対応タブレット端末設置検討の際に、手話通訳者の設置も協議したが、具体的な検討には至っていない。利用状況等も考慮しながら、今後の研究課題とする。
【秀村】職員の資格取得やスキルアップ等につながる研修の受講費用を助成する制度については、どのように考えているのか。
【部長】現在はそのような制度はないが、人材の育成、行政サービスの質の向上につながるものと考えている。他の資格も含め、業務上の必要性等を考慮し、助成する資格を選別する等の必要があることから、検討していきたい。
【秀村】新たな手話通訳者を育成できるよう、職員が手話に興味を持ち、資格を取得しやすい職場環境の整備を要望する。

障害のある人の健幸／合理的配慮の提供について



金子 加代

【金子】本市は、健康づくり計画に沿った事業を展開する中で、障害のある人の特定健康診査等の状況はどうなっているのか。
【部長】特定健康診査者7497人のうち障害のある方は378人、若年者健診受診者557人のうち障害のある方は16人となっている。健康教育や健康相談での障害のある方の人数までは把握していない。
【金子】ある書籍の中で知的障害のある人の健康診断未受診が多い理由に、医師や検査に不安が高い、感覚が過敏で配慮が必要だが配慮してもらえない等の記載があった。障害の有無に関わらず健康を考える機会が得られるよう福祉サービス事業所等と連携を要望する。
障害のある人が屋内運動施設を利用する際

の減免制度はあるのか。
【部長】サンアビリティーズいづかは無料、健康の森公園内の2施設は、50%減免である。
【金子】運動施設や文化施設についても減免措置を充実してほしい。
障害のある人の運動教室をどう考えるのか。
【部長】参加できる選択肢を増やすことが必要であると考えている。
【金子】「障害者差別解消法」の合理的配慮は、関係各課で検討されている。以前、手話言語条例の一般質問でコミュニケーション支援ボードの提案をしたが導入を考えているのか。
【部長】本市の窓口に適した同支援ボードの導入を検討していく。
【金子】来年4月から事業者にも合理的配慮が義務化されるが、どのように周知するのか。
【部長】様々な機会に理解促進の広報等を行い、さらに商工会議所や商工会等に協力を依頼する。また、事業者へのコミュニケーション支援ボードの紹介を含め調査研究していく。



自治会活動（防犯灯）／観光産業について



藤堂 彰

自治会活動について

【藤堂】防犯灯の管理はどうなっているのか。

【部長】自治会及び市所有の防犯灯は、平成26年度に10年間のリース事業を開始しており、本年度末に終期を迎えることから、自治会連合会理事会を窓口として、今後の取組等について協議を開始している。

【藤堂】防犯灯代については、自治会に入っていない方から徴収している隣組もあれば、そうでないところもある。徴収に困っている方々を助ける新たな取組の検討を要望する。

また、自治会加入に当たり、自治会のメリットのみを話すのではなく、本市の目指すべき未来の話をし、「そのために自治会が必要なんだ、自治会が皆さんの生活を豊かにするんだ」というポジティブな話をすることで、加入への興味を引くのではないかと考えるため、検討をお願いする。

観光産業について

【藤堂】旧伊藤伝右衛門邸ではどのようなイベントを実施しているのか。

【部長】いづつか雛まつり、端午の節句展及び秋の企画展を行っており、年3回イベントを実施している。

【藤堂】旧伊藤邸はポテンシャルのある貴重な観光資源であると考えている。昨年の数字では来客者数の78%がイベントでの集客となっているが、今後、有効活用を図っていくため新規イベントを実施することは可能か。

【部長】商工観光課が窓口となり、個別具体的にイベントの内容を精査し、実施の可否については文化課と協議しながら決定していく。

その他4点
①花火大会（八木山深流公園キャンプ場）
②商店街復興（広域連携）
③についても質問をした。

奨学金の返還支援／認知症基本法について



奥山 亮一

奨学金の返還支援

【奥山】本市の奨学金の返還支援はどのような仕組みなのか。また、返還対象者はどのくらいいるのか。

【部長】返還年度の前1年間を本市に在住していたら、返還年度で1年分を返還免除できる。令和4年度は、返還対象者数29人に対し、返還免除適用者数は14人となっている。

【奥山】日本学生支援機構の奨学金に対する返還支援を自治体が実施する場合は、特別交付税措置の対象となっており、全国で615の市町村が導入している。本市もぜひ新たな奨学金返還支援の制度を創出してどうか。

【部長】本市の奨学金返還支援制度が定住促進の一助となっていると認識しており、様々な取組を検討しつつ、引き続き返還支援制度について研究していきたいと考えている。

認知症の対策

【奥山】本市の認知症高齢者等の現状はどのようになっているか。

【部長】約1万人の方が認知症または認知症に関する何らかの疑いの可能性があるというような状況であると推測している。

【奥山】認知症患者を暮らしやすくするため本市の支援策はどのようなものがあるのか。

【部長】認知症に対する正しい理解を促進するため、認知症サポーター養成講座を実施するとともに、必要に応じて認知症対応型共同生活介護、いわゆる認知症グループホームや認知症対応型通所介護事業所等の基盤整備を進めている。

【奥山】昨年の3月議会で片峯市長は、共生社会を目指し、認知症にもしっかりと取り組んでいきたいと述べた。市民が安心できるよう、認知症施策を進めていただくことを要望する。

過疎地域持続的発展計画について



田中 英美

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行に伴い、筑穂地域及び額田地域が過疎地域の対象となり、過疎地域持続的発展計画が策定された。策定に当たり、対象地域からどのような意見があったのか。

【部長】筑穂地域では、民有地を活用した企業誘致への取組、八木山バイパス4車線化に伴う交通網の整備、長崎街道内野宿等の保存整備等、額田地域では、額田支所周辺の未利用公共施設の活用、勢田地区北部の老朽化した炭鉱住宅の住環境の向上等の意見があり、担当課と協議し、できる限り計画に反映させている。

【田中】事業の実施状況はどうなっているか。

【部長】スクールバス、コミュニティバス等運行

事業、まちづくり協議会活動推進事業、筑穂ふれあい交流センター整備、大分小学校大規模改造、筑穂保育所整備、額田グラウンド整備、消防自動車購入等に過疎債を活用し、事業を実施している。

【田中】どの地域でも実施しているような一般的な事業にも過疎債が活用されているようだが、今後、どのような事業を実施していく予定なのか。

【部長】内野小学校体育館の大規模改造、筑穂野球場及び筑穂グラウンドの改修工事、額田交流センター別館整備、企業誘致用地の適地調査のための地盤調査等を予定している。今後も引き続き、過疎地域の活性化・持続的発展を図るため、計画的な事業の実施を推進していく。

【田中】過疎対策推進協議会等を設置し、市全体の課題として、地域間の格差がなくなるよう過疎対策事業の実施に最大限注力されることを要望する。



市役所組織のあり方について



永末 雄大

【永末】 これからの人口減少、財政課題等により職員数の減少が想定される。その中でも行政サービスの質は確保されるべきであることから、AI等の活用が望まれる。これまでの取組の成果はどのようなになっているのか。

【部長】 AIを使った会議録作成支援において27課中、23課で削減効果があつた。

【永末】 現場からの改善提案を受け入れる職員提案制度について、他自治体の事例を参考に、積極的な活用が図られるよう要望する。

また、人事異動の際の事務引継ぎの現状については、どのようにしているのか。

【部長】 職員服務規程に基づき、事務引継書や業務フローの作成などを行っている。

【永末】 職員が休職や

離職せざるを得なくなった場合のサポート体制はどのようなになっているのか。

【部長】 職場復帰支援制度・復帰プログラムを定め円滑な職場復帰を目指している。離職については特段のサポートは行っていない。

【永末】 平成27年に職員の健康に経営面でも配慮するという「健康経営」という視点を取り入れる提案を行った。再度検討を要望する。

提供される行政サービスが一方的なものになっていないかをチェックするためにも市民満足度調査が必要だと考えるが、どのような取組状況なのか。

【部長】 令和2年に無作為抽出による市民6千人への市民意識調査を実施した。

【永末】 結果を見ると、「不満」が「満足」を上回る厳しい評価がなされている。次回は、この評価結果が向上するように、今回提案した改善策等について、ぜひともしっかりと取り組んでほしい。

空き家の現状について／住区基幹公園、都市基幹公園について



赤尾 嘉則

本市における空き家の現状について

【赤尾】 本市における空き家の数はどのような推移しているのか。

【部長】 令和4年度より実施している現地調査では減少している。

【赤尾】 市民から空き家に関する相談や苦情があれば、どのような対応を行っているのか。

【部長】 現地調査による状況確認を行った後、所有者等を特定し通知文書を送付している。連絡があつた場合には、相談内容への対処だけでなく、多角的な空き家の方向性を示すことで、解決につながるよう努めている。

【赤尾】 本市における空き家の数は減少しているようであるが、対策をより進めるにあたり、空き家所有者側の悩み解決の受け皿として民間活力を取り入れ

ることを要望する。

住区基幹公園、都市基幹公園について

【赤尾】 市内には多くの公園があるが、福岡県の基準と比較して面積は適正か。

【部長】 県の目標値は県民1人当たりの面積が10㎡に対し、本市では14㎡となっており、目標値を上回っている。

【赤尾】 公園について市民アンケート調査を実施しているが、結果はどうなっているのか。

【部長】 数については一定の満足度があるが、質の満足度は低いという結果であつた。

【赤尾】 本市の公園の課題解決に向け、どう取り組んでいくのか。

【部長】 計画に基づき、公園の適正配置を進め、長期的に安定した維持管理や公園機能の維持に努めていく。

【赤尾】 アンケート調査の対象を特定した公園とし、より市民ニーズの把握に努めてほしい。また、魅力ある公園づくりを進めるため、地域組織や民間事業者との連携を要望する。

大将陣横産廃焼却計画／部落解放同盟幹部と市幹部28名が会食



川上 直喜

肥料・飼料・燃料の高騰対策の検討へ

【川上】 JAの要望、トラック協会の要望に対して、現段階でどういう検討をしているか。

【部長】 生活者や生活に直結する事業者への支援に加え、燃料費高騰対策も検討する。

大将陣公園横の産廃焼却施設計画

【川上】 早急に事業者へ片峯市長の意向を伝え撤退を求めらるべきだ。今後はこの事業を注視していきたい。

【市長職務代理者】 今

【川上】 市長は後手に回らぬようしっかりと頑張りたいと言っている。市の農業施設使用に契約書なし

【川上】 農業施設はどのくらいあるのか。

【部長】 農機具保管庫23施設、農業共同作業所等12施設、計35施設だ。

【川上】 市が鍵を持っていない施設はどこか。

【部長】 24施設ある。

【川上】 使用契約はどうなっているのか。

【部長】 筑穂地区の2施設、農業共同作業所等1施設以外は契約書を確認できていない。

【川上】 農機具は補助金での購入だが処分実績はどうなっているか。

【部長】 把握できていない。

【川上】 市長要求に基づく監査請求が必要だ。

【市長職務代理者】 問題のある事項は直ちに是正する必要があるが、市長監査請求の考えは今のところない。

【川上】 新市発足後の補助金が総額5億100万円に上る部落解放同盟だ。大半は幹部の人件費だ。8月4日金曜日夕方、その幹部らと会食した職員は誰か。

【部長】 市民協働部長、人権同和政策課長・課長補佐、スポーツ振興課長、まちづくり推進課長・課長補佐、市民活動支援課長ほか、部次長を含め28名程度だ。



自治会役員・民生委員の成り手不足解消／自主防災組織について



深町 善文

【深町】本市の自治会の加入率は、どのようになっているのか。
【部長】住民基本台帳の6万3651世帯に対し、3万1935世帯が加入しており、率で50.17%となっている。
【深町】役員の後継者不足を解消する方策をどう考えているのか。
【部長】活動時間の見直し、役員の負担軽減、デジタル化など柔軟な運営により若い世代が参加しやすい環境を整えることで次世代の人材育成につながり、後継者不足の解消に効果的だと考えている。
【深町】課題を整理し、民間企業による市報配布など他市の事例を参考にしながら、加入率増加に努めてほしい。
民生委員の成り手不足が問題視されているが、同委員の欠員が生じている地区の現状を

どのように分析しているのか。
【部長】民生委員の対象世帯の基準は、本市の人口規模だと170〜360世帯に1人となるが、50世帯を受け持つ委員もいれば500世帯超を受け持つ委員もいることから、区域割りの変更も含めて検討が必要と考えている。
【深町】民生委員の確保にむけ本市として様々な取組をされているが、地区によりそれぞれ課題や対策が異なるため、各地区の民生委員児童委員協議会の声に耳を傾けてほしい。
自主防災組織の設置は、自治会単位ではなく、もう少しあるのか。
【部長】14団体の自治会で設置されている。
【深町】自主防災組織の在り方について、どう考えているのか。
【部長】自主防災組織は、地域における災害による被害を予防し、軽減するための組織である。本市としては、引き続き組織の設立、運営、支援を推進していきたいと考えている。

防げるがん対策について



田中 裕二

【田中】がんの主なリスク要因と、予防可能ながんの経済的負担額や種類はどのようになっているのか。
【部長】リスク要因としては、順に感染、能動喫煙、飲酒、運動不足、過体重などが挙げられる。予防可能ながんの経済的負担額は、がん全体の負担額約2兆8597億円のうち、約1兆240億円であり、種類については、男女ともに胃がんが最も多く、続いて男性では肺がん、女性では子宮頸がんとなっている。
【田中】胃がんの原因の多くはピロリ菌由来と言われているが、本市ではピロリ菌の除菌についてどのような周知を行っているのか。
【部長】健康づくりイベント等においてポスター掲示やチラシ等配布を行い、ピロリ菌感染につ

いての正しい知識や、検査の情報発信を行っている。
【田中】子宮頸がんの予防にはHPVワクチンが用いられているが、このワクチンの接種を逃してしまつた世代への対応が急務とされている。令和4年度から積極的勧奨とキャッチアップ接種を行っているが、接種率は伸び悩んでおり、令和6年度に接種対象の最終期限を迎える高校1年生と、キャッチアップ接種対象の高校2年生から27歳相当の未接種者全員に再度通知するべきだと思いが、どう考えているのか。
【部長】令和6年度の早い時期に、未接種者に対して通知を行っていききたい。
【田中】男性のHPVワクチンは、自己負担で任意接種となっている。この費用について助成を検討すべきだと思いがどうか。
【部長】国の動向を注視し、市の制度として助成をすべきか検討していく。

フリースクール支援／公営住宅の改修



藤間 隆太

フリースクール支援
【藤間】保護者の送迎がフリースクール利用の際の障壁となっていると声を聞いている。乗合タクシー的な方法での送迎支援はできないのか。
【部長】全国的にフリースクールの通所に対する交通費の支援を行っている例はまだ少ない状況である。今後、先進自治体のフリースクール通所に係る支援制度の情報を収集していきたい。
【藤間】本市は面積が広く、隅々まで交通網が行き届いていないためフリースクールの通所に対する支援制度の検討をお願いしたい。
公営住宅の改修
【藤間】本市の公営住宅の老朽化の現状を教えてください。
【部長】大半が昭和40年代後期から昭和50年

代にかけて建設されており、既に耐用年数を超過している住宅が全住宅の約6割を占めている。こうした住宅の経年に伴う劣化は著しく、入居者からの修繕の申し出なども多い。
【藤間】老朽化による建物の劣化への対応は必要である。
建築当時の設備様式がそのままのものも多く、例えばトイレの水洗化などは多くが普及していないと思われるが、水洗化率はどのくらいか。
【部長】水洗化が施された公営住宅は、団地単位では約44%であり、戸数単位では約33%となる。
【藤間】特に古い公営住宅に住む方から、住居や設備に関する苦情が多く寄せられている。時代の流れとともに求められる「最低限」の質が変わっていく中で、「水洗化が必要」と考える方が増えており、より「層」の水洗化の整備についても検討をお願いしたい。



一般質問（令和5年9月定例会）

防災関連／市所有の絵画等／児童クラブに関して



道祖 満

【道祖】新総合体育館は災害時にどのような機能するのか。
 【部長】空調機能を有し、夏季・冬季でも災害弱者を含め多くの避難者の受け入れが可能である。自家発電設備、太陽光発電設備を設置し停電時に対応できる。地下に雨水貯留槽を設置しトイレ水洗に活用している。周辺に広い駐車場やグラウンドもあることから、車中の避難など多くの避難シチュエーションに対応が可能である。
 【道祖】市民参加による震災時の避難対応訓練の実施を要望する。
 【市所有の絵画等】市が所有する絵画等の題名や作者、来歴等の整理はその後どのような状況か。
 【部長】市所有の美術品1124点について、

収蔵施設での現地調査による確認等を行ったが、未調査の美術品が約40点あるため、今年度中に調査を完了し、ホームページで公開する準備を進めている。
 【児童クラブに関して】
 【道祖】外で遊ぶのが困難になるくらい気温の高い日が続いているが、遊戯室の利用はどのような状況か。
 【部長】エアコンを設置していないため、気温が30度以上の場合には利用を控えている。
 【道祖】今後、どのように対応するのか。
 【部長】エアコンの利用が可能な学校施設を活用して、集団活動や運動ができるように取り組んでいきたいと考えている。学校の敷地内に併設されていない児童クラブも含め、調査研究し来年度から対応していきたい。
 【道祖】遊戯室等の広い場所で遊ぶことを我慢しているという声を聴く。現状を把握し、安心して児童クラブが利用できるよう対応してほしい。

議案の議決結果（令和5年9月定例会）

※地方自治法の規定により、議長（江口徹）は表決に加わりません。 ※共：日本共産党 ※維：日本維新の会
 （○→賛成、×→反対、欠→欠席、棄→棄権）

議案名	議員氏名	会派名																賛成	反対																
		飯塚みらい会	いつか会	公明党	而今会	同志会	友和会	立憲民主党	共	無	無	無	無	維	賛	反																			
令和5年度 飯塚市一般会計補正予算(第4号)	小幡俊之	江口徹	金子加代	秀村長利	永末雄大	深町善文	赤尾嘉則	光根正宣	田中裕二	守光博正	奥山亮一	吉松信之	城丸秀高	土居幸則	鯉川信二	田中博文	吉田健一	上野伸五	田中英美	兼本芳雄	道祖満	佐藤清和	田中武春	川上直喜	坂平末雄	瀬戸元	藤堂彰	藤間隆太	賛成	反対					
令和5年度 飯塚市水道事業会計補正予算(第1号)																																			
飯塚市水道事業給水条例の一部を改正する条例																																			
損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解(公用車による物損事故)																																			
市道路線の認定																																			
専決処分承認(令和5年度 飯塚市一般会計補正予算(第3号))																																			
市長提出議案	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めること																																		
令和4年度決算	一般会計／特別会計(国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療・地方卸売市場事業・工業用地造成事業)																																		
	小型自動車競走事業特別会計																																		
	特別会計(農業集落排水事業・駐車場事業・汚水処理事業)																																		
	水道事業会計																																		
	工業用水道事業会計／下水道事業会計																																		
市立病院事業会計																																			
議員提出	議会アドバイザーの設置に関する決議																																		

●継続審査とすることについて賛否をはかったもの ※会期内に委員会の審査が結論に至らなかったもので、引き続き委員会において審査します

議案名	議員氏名	会派名																賛成	反対															
		飯塚みらい会	いつか会	公明党	而今会	同志会	友和会	立憲民主党	共	無	無	無	無	維	賛	反																		
「伊川の郷」ラジウム温泉風呂の早期再開を求める請願	小幡俊之	江口徹	金子加代	秀村長利	永末雄大	深町善文	赤尾嘉則	光根正宣	田中裕二	守光博正	奥山亮一	吉松信之	城丸秀高	土居幸則	鯉川信二	田中博文	吉田健一	上野伸五	田中英美	兼本芳雄	道祖満	佐藤清和	田中武春	川上直喜	坂平末雄	瀬戸元	藤堂彰	藤間隆太	賛成	反対				
子育て支援の充実(保育料無償化)を求める請願																																		
子育て支援の充実(子ども医療費無償化)を求める請願																																		
議員提出	飯塚市議会の議員の定数を定める条例の一部を改正する条例																																	

議案の議決結果は

市議会ホームページ

審議一覧・審議結果

